

初期消火に感謝状

7月13日(水)に上宗岡で発生した、トラックの火災で、初期消火にあたった3人に、8月24日(水)、志木消防署長から感謝状が贈呈されました。

※当日欠席の奥積徹さん(東京都在住)へは、後日贈呈



▲(左から)柴田博さん(さいたま市在住)、大貫志木消防署長、芝良夫さん(上宗岡在住)

市内道場で技を磨く

7月に開催された第40回朝霞地区剣道連盟剣道大会中学生の部で優勝した最上勝大朗さんが市長を訪問し、優勝の喜びを報告しました。



▲(左から)香川市長、最上勝大朗さん、小日向貴史さん(清瀧館小日向道場館長)

おめでとう ございます



高齢者叙勲 瑞宝双光章

とびおか いたる
飛岡 致さん(館在住)
【経歴】元大蔵事務官

長年にわたり大蔵省所管の財務行政に携わり、その公務に尽力されました。

図書館おすすめ本コーナー ⑨

今月の一冊 『マジック・ツリーハウス』 シリーズ

問合せ/柳瀬川図書館 ☎(487)2004



今月は柳瀬川図書館
子供サポーターの岸本
珠季さんが、お気に入り
の本を紹介します。

私が紹介するのは、「マジック・ツリーハウス」シリーズです。一年生のとき、本が好きな親友にすすめられた、歴史をふまえた物語です。

主人公のジャックは本が好きで、妹のアニーは動物や空想が大好きです。そんな二人はある日、森の中でツリーハウスを見つけます。中には本がたくさんあり、アニーは恐竜の本に描かれたプテラノドンに「会いたい」と言います。するとツリーハウスがぐるぐる回り、二人は恐竜の世界にやってきたのです。そして二人はこの小屋をマジック・ツリーハウスと名付け、色々な所へ時を超えて冒険をしに行きます。

この本の好きな所は、歴史と架空の交差時のリアリティです。ジャックとアニーはもちろんいません。その二人が本当に起こった事件とうまく溶け込んでいるのです。未来の月へ行ったらときも、人類の平和宣言の横に、子供の平和宣言を二人は作っています。

無いはずである現実味。ぜひ皆さんの手で確かめてください。

※「子供図書館サポーター」は、小学5年生から登録することができる、柳瀬川図書館の仕事をお手伝いするボランティアです。

著者：メアリー・
ポープ オズボーン
翻訳：食野 雅子
出版社：メディアファクトリー



志木を知り 志木を愛する 市民のかかるた

ま

「しき郷まかるた」 しき郷土かるたの舞台のいま・むかし

第29回

緑豊かな志木のまち

昭和45年10月26日、地方自治法の改正に伴って単独市制を施行し、「志木市」が誕生しました。当時は、人口も現在のちょうど半分ぐらいで、約3万2千人程度でしたが、その後、都心から近いこともあって急増し、活気あふれる都市として発展を続けています。面積は、9.05平方キロメートルと市としては小さい方ですが、荒川・新河岸川・柳瀬川と3つの河川が流れ、水と緑に恵まれた環境にあります。

川辺の環境を守るため、秋恒例の「親と子の市内まるごとクリーン作戦PART2 川辺の清掃」が10月23日(日)に開催されます(32ページをご覧ください)。皆さんの力で、まちの自然を守っています。



◀ いろは親水公園の川辺と緑



※「しき郷土かるた」は、志木駅東口駅前広場の舗装の一部に、絵タイルとして敷設されています。